

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年3月2日（木）

### 2 確認箇所

ブルータンクエリアA、C、D

### 3 確認項目

横置き型ブルータンクの保管状況

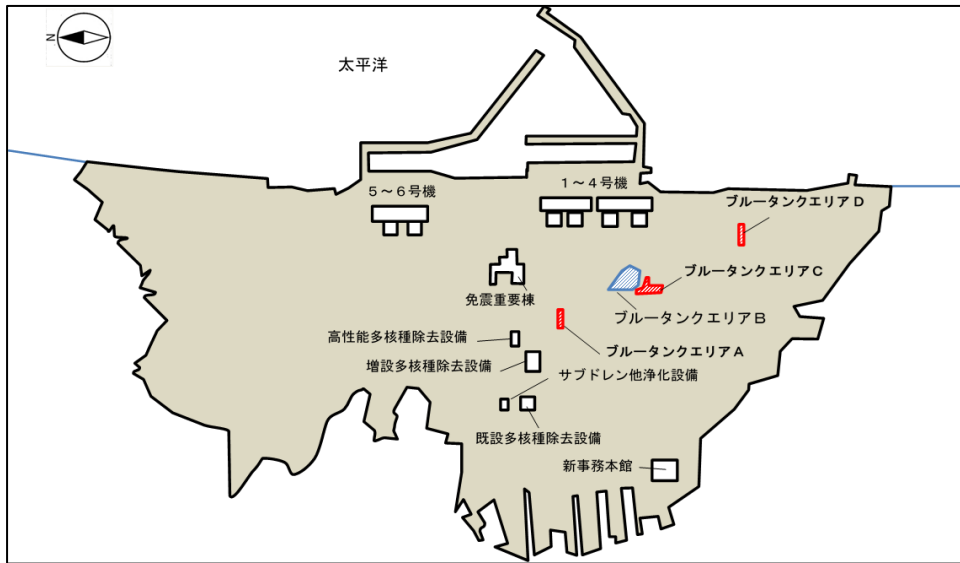
### 4 確認結果の概要

溶接型タンクへのリプレースに伴い撤去された横置き型ブルータンク（以下「ブルータンク」という。）は、構内4箇所（ブルータンクエリアA～D）に保管されている。今回は、1～4号機周辺防護区域外にあるブルータンクエリアA、C及びDの現況を確認した。（図1）（前回確認 ブルータンクエリアA：令和3年11月9日 ブルータンクエリアC：令和3年12月16日 ブルータンクエリアD：令和4年2月2日）

- いずれのブルータンクエリアも、関係者以外が立ち入らないように、単管パイプによる区画が設置されるとともに、立入禁止の標示が設置されていた。（写真1）
- いずれのブルータンクエリアも、タンクは2段積みで保管されており、確認した範囲では、下段のタンクと台座等を固定するボルト等に緩みや欠損は認められず、下段のタンクと上段のタンクを固縛するベルトにも破損等は認められなかった。（写真2）
- また、ブルータンクエリアAとCに保管されているタンク下部のフランジ養生にも異常は見受けられなかった。（写真3）
- ブルータンクエリアDで保管されているタンクの表面は、FRP（繊維強化プラスチック）で保護されているが、一部のタンクでFRP保護材に亀裂が生じている箇所や剥離している箇所が見受けられた。飛散防止対策として、保管されているタンク全体がネットで覆われており、確認した範囲では、周囲にFRP保護材の飛散は認められなかった。（写真4）
- なお、各ブルータンクエリアに保管されているタンクの基数は以下のとおりである。

ブルータンクエリアA：30基 ブルータンクエリアC：103基

ブルータンクエリアD：100基



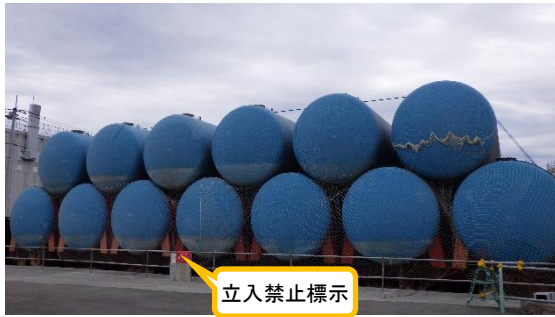
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
ブルータンクエリアAの外観  
(南西側から撮影)



(写真1-2)  
ブルータンクエリアCの外観  
(南東側から撮影)



(写真1-3)  
ブルータンクエリアDの外観  
(西側から撮影)



(写真1-4)  
立入禁止標示の例  
(ブルータンクエリアC)



(写真2-1)  
タンクと台座等の固定の例①  
(ブルータンクエリアC)



(写真2-2)  
タンクと台座等の固定の例②  
(ブルータンクエリアD)



(写真 2 - 3)  
上段タンクと下段タンクの固縛の例  
(ブルータンクエリアC)



(写真 3)  
タンク下部のフランジの養生状況の  
例 (ブルータンクエリアC)



(写真 4)  
FRP 保護材の飛散防止対策の状況  
(ブルータンクエリアD)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。